

令和8年度

「先生と地域がともに学ぶコミュニティ・スクール、地域学校協働活動研修会」

「CS・地域学校協働活動を知ろう！」

「地域とともにある学校」とは

愛知県CS・地域学校協働活動コンサルタント
奈良県CSアドバイザー
天理大学社会教育学科 非常勤講師

新谷 明美

1

「地域・学校・家庭がとも連携し、
より良い未来を目指して子どもたちの学びを支える！」



お互いを認め合い、語り合い、目的・課題・思いを共有して前に進む！
形・手段はその学校、その地域それぞれのやり方でOK！

2

絶対的な正解はない！ けれど…

時には基礎基本を振り返り、足元を確認しながら進むことは大切です。

何のための議論なのか、何のための活動なのか、方向性は間違っていないのか…

「私たちは〇〇〇のために力を尽くしています！」
と、自信を持って語れるように、

3

学校運営協議会
(コミュニティ・スクール)

法律で定められた**組織**

地域学校協働活動

地域・社会と学校が緩やかにつ
ながり、子どもたちの学びの
ために共に力を尽くす**機能**

それぞれの役割が明確で、
情報・人材がうまく連動している状態

地域と共にある学校

4

「学校運営協議会」って？

輪郭がはっきりしている

法律で定められた組織



- 設置者 : 市町村教育委員会（県立学校→県教育委員会）
- 予算 : 市町村予算
- 委員 : 市町村教育委員会による任命、委嘱
（対象学校の校長からの意見による）
- 委員謝金 : 法律で当該市町村より支払わなければならないと明記

5

コミュニティ・スクールとは 学校運営協議会を設置している学校

学校長の学校運営方針を承認する

学校運営について教育委員会又は学校長に意を見述べる
ことができる

教職員の任用に関して教育委員会に意見を述べる
ことができる

法律で定められた機能・合議体

その学校において
必要な支援を協議
する

「学校評議員制度」を
吸収

子どもたちの学びに責任を持ち、学校、教職員を守るシステム

6

学校運営協議会

- ・ 2004年（平成16年）地方教育行政の組織及び運営に関する法律 改正
学校運営協議会制度 創設
- ・ 2008年（平成20年）第1期教育振興基本計画（閣議決定）
設置促進
- ・ 2013年（平成25年）第2期教育振興基本計画（閣議決定）
設置成果目標設定
- ・ 2017年（平成29年）地方教育行政の組織及び運営に関する法律 改正
第四節「学校運営協議会」
設置努力義務化
- ・ 2018年（平成30年）第3期教育振興基本計画（閣議決定）
全ての公立学校において導入することを旨とする

7

「学校運営協議会」は…

合議体

★複数の構成員の意思を総合して意思決定を行う組織

状況を報告するだけの場ではなく
個人の思い、考えだけを述べる場ではなく

組織としての意思を持ち（合議）、
それを表明する（広報）ことが重要

8

【学校運営協議会 構成メンバー】（モデル）

大切な視点

【多様性】

地縁に縛られない



学校長
教頭
教務主任
自治会代表
民生児童委員等
公民館館長
PTA代表
元校長
大学教員（教育学部等）
校医、弁護士、警察、企業経営者
地域学校協働活動推進員（コーディネーター）



【熟議】 = 当事者意識の醸成

学校運営協議会メンバー（委員）それぞれが権限を行使できるレベルに成熟するためのツールでもある

9

「学校運営協議会」が求められている役割を果たすため、その権限を行使するために必要な手段（意思決定）

熟議



- ・ その学校が目指す姿
- ・ 目指す子ども像



- ・ 地域との関係
- ・ 教職員、保護者の姿

10

熟議に大切なポイント

多様性

平等性

共感力

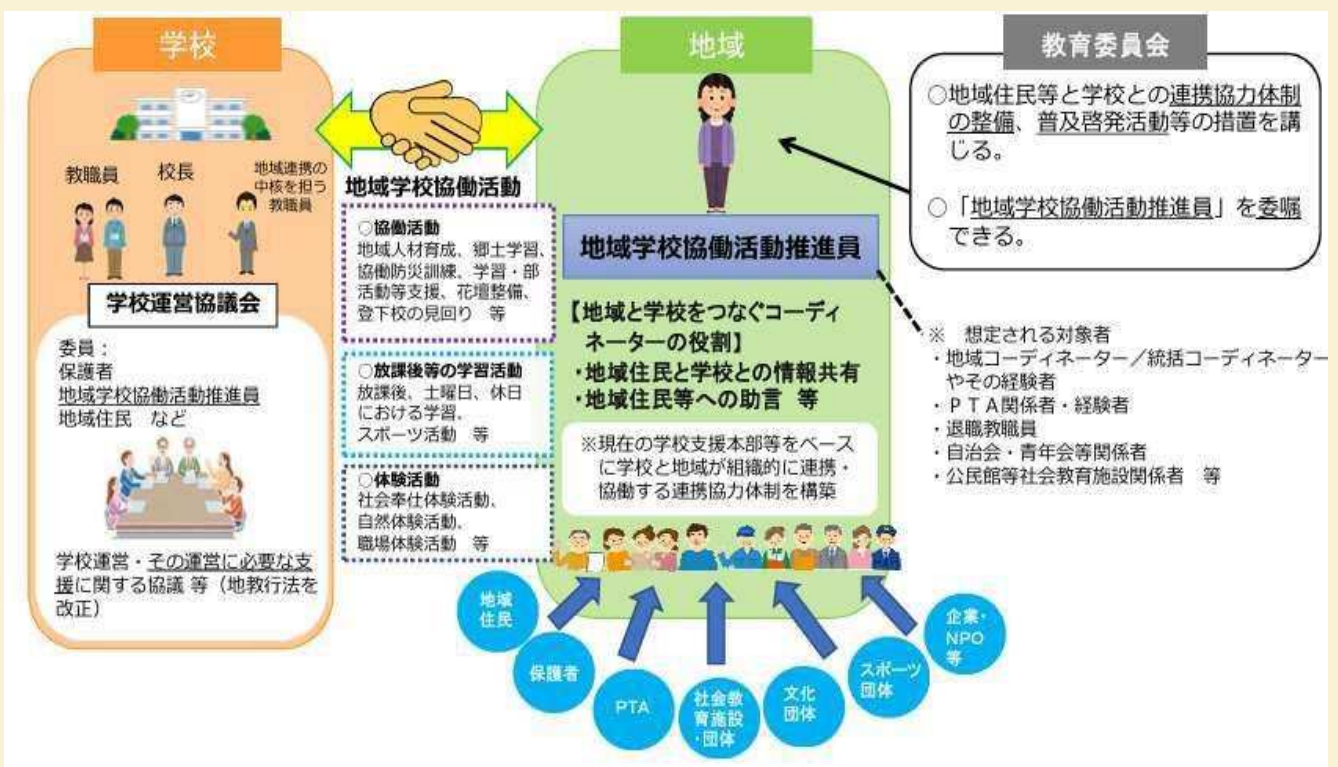
- ♣ 集団思考の見える化
- ♣ 結論を急がずに、多角的に見る

参加者一人一人の違いを認め合い、議論を重ね、進むべき方向性を見出し、明文化する

「地域、社会との関りの中で、この学校（児童生徒・教職員・保護者）が何を目指し、どのような姿であるべきなのか」

地域学校協働本部（活動）

多様な社会の教育資源とのゆるやかなつながり



これまでの地域と学校の関係



- ◆ 学校応援団
- ◆ 「おらが学校」

- ◆ 子どもたちの姿をもっと地域に
- ◆ 忙しい先生の助けになれば
- ◆ 地域行事に先生も参画を



学校支援地域本部
(H20～22文部科学省委託事業、H23～補助事業)

13

今までにもあった姿をなぜ
制度にしないといけないのか？！

少子高齢化の時代
社会が目まぐるしく変化する時代
子どもたちを育む仕組みを今整備し、途絶えること
なく持続発展させるため



さらに発展

2016年（平成28年）**地域学校協働活動（本部）**

誰が 何のために

14

学校と地域の関係

支援



連携



協働

目指すべきは**協働**

- ★何をするかではなく、何のためにするのか
- ★何ができるかではなく、何が必要か
- ★この活動によって子どもたちが何を学ぶのか
- ★関わる大人が思いを共有しているか

課題と目的の共有

コーディネート機能を持ち、協議を尽くす

15

キャリア教育
道徳教科化
プログラミング
アクティブラーニング
総合・探究
カリキュラムマネジメント
社会に開かれた教育課程 etc.



© Pepper/SolBank Robotics
社会福祉法人ぎふのはりソフトバンクグループ株式会社のPepper社会貢献プログラム
この写真は、ソフトバンクグループ株式会社のPepper社会貢献プログラムによるものです。

生きる力

を深く追求

何を学ぶかではなく、どのように学ぶか。
何ができるようになるか。

16

現代の子どもたちの課題

- ・ 学びに対する興味・関心の希薄さ
- ・ 体験・経験の少なさ
- ・ 学びと将来が結びつかない
- ・ 学びと社会が繋がらない
- ・ 受験勉強偏重
- ・ 自尊感情、自己有用感の低さ etc...

17

子ども達の「生きる力」とは 「豊かな心」「確かな学力」「健やかな体」

子ども達が身に着けるべき資質・能力（学力）

- 1、知識・技能
- 2、思考力、判断力、表現力
- 3、学びに向かう力、人間性**

主体性をもって社会と関わり、よりよい人生を送るために協働し、生涯にわたって学び続けられる力

18

子どもたちに
あらゆる世代との
出会いと交流、体験を！



浴びるように
人との出会いを



人間浴

親でも教師でもない
大人から認められる！
必要とされる！

「出会った大人の数だけ、
子どもは夢を持つ」

19



私たちの未来を担ってくれる子どもたちがどんな人材に育つ
のか。それは未来の社会がどうあって欲しいのかということ
とイコールであり、全ての大人の責任
教育に地域が関わることの意味は大きい

全ての人が子どもたちの教育に関心を持ち、参画し、
未来を見据え、よりよい社会を目指して共に力を尽くす



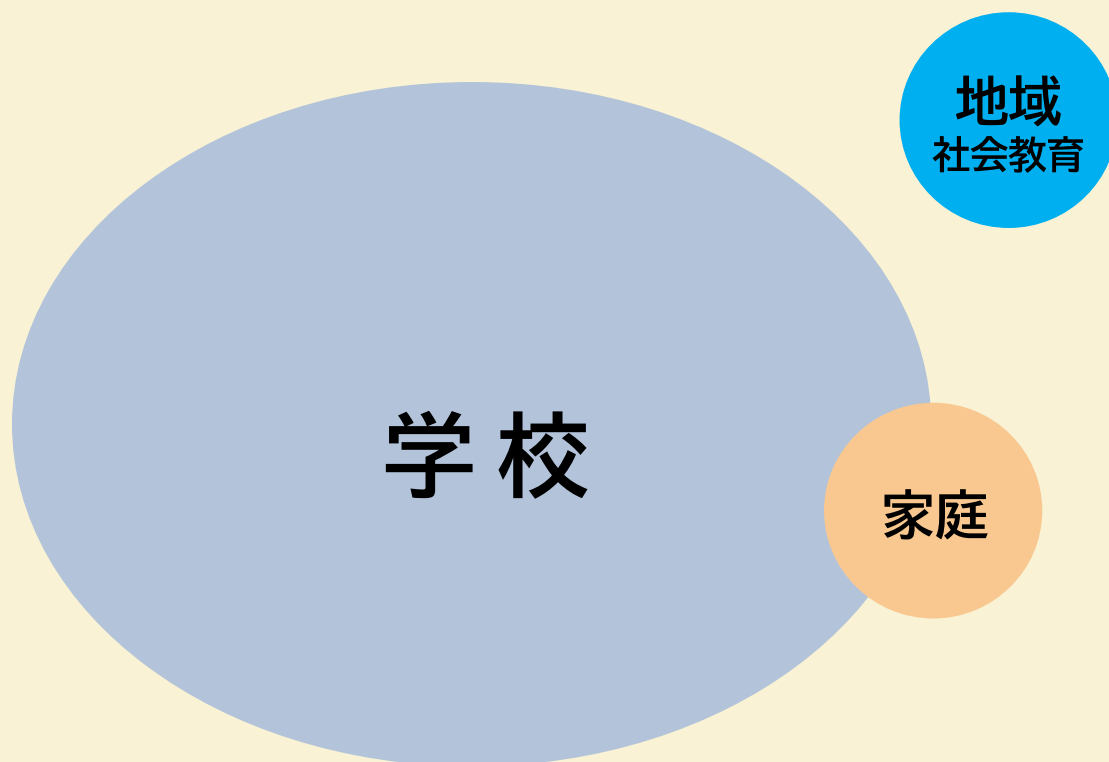
地域学校連携事業



「社会に開かれた教育課程」

20

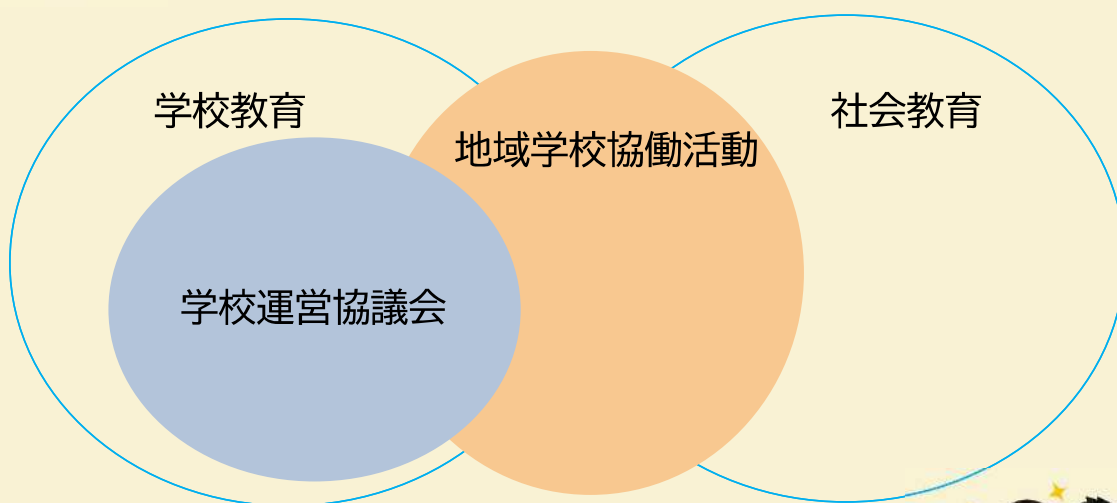
時代の変化と共に顕著化してきた課題



21



目の前にいる子ども達がこの地域の、この国の未来です



豊かな「根っこ」を育てるため、是非みなさんのお力をお貸してください



22